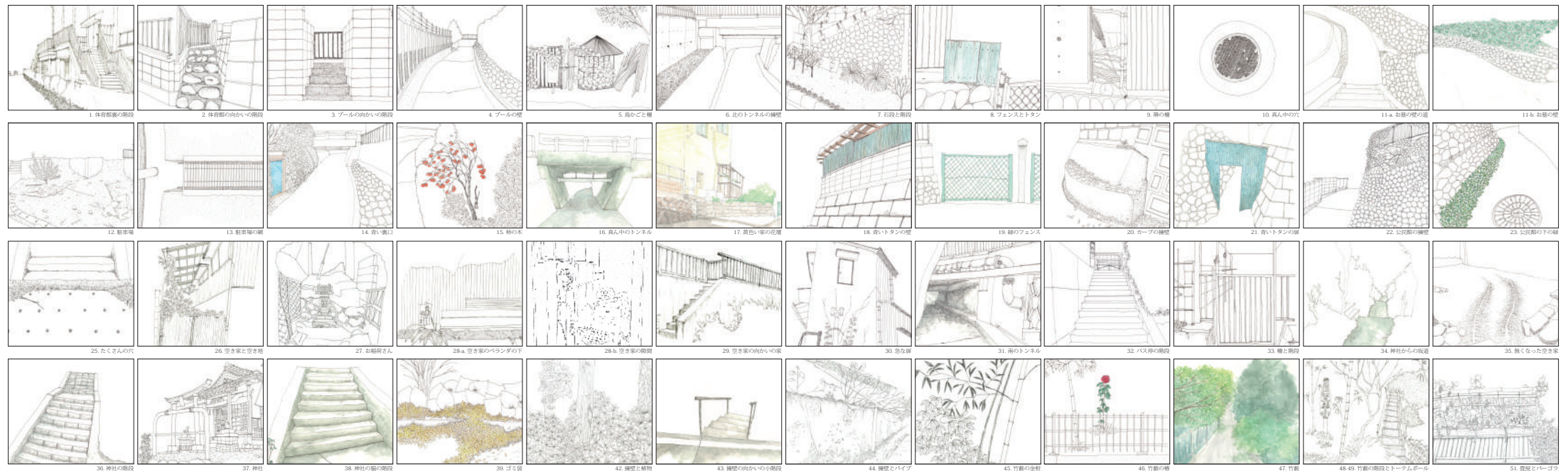


03-b. 対象敷地の選定 840mの道の中で線画を失ってしまっている要素を採集し、対象敷地を選定する。

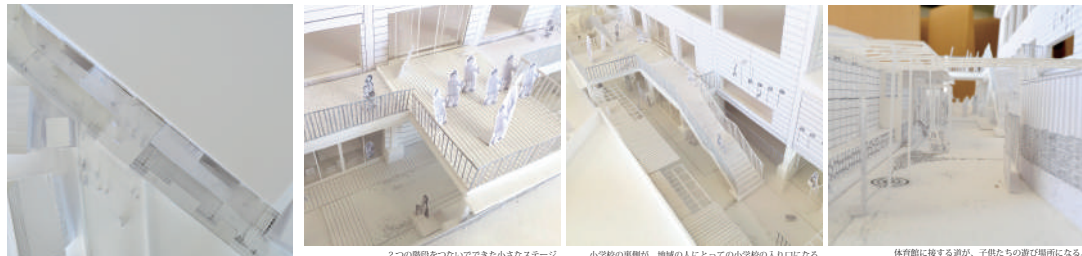


PROJECT 01
 体育館裏の階段
 ↓
 学童クラブと小さな保育室

小学校の体育館の裏に、誰にも使われていない2つの大きな階段がある。2つの階段をつなげて、体育館の中で起きていることが少し溢れてくるようなステージを作り、その下の空間に学童保育と小さな保育室を取ける。学童保育の子供たちは歩行者しか通らない840mの道で思い切り遊び、面白い。子供は保育室で小さな子供と一緒に本を読んでも遊ぶ。それまでは人気の無かった小学校の裏側が地域住民にとっての小学校の入り口となる。

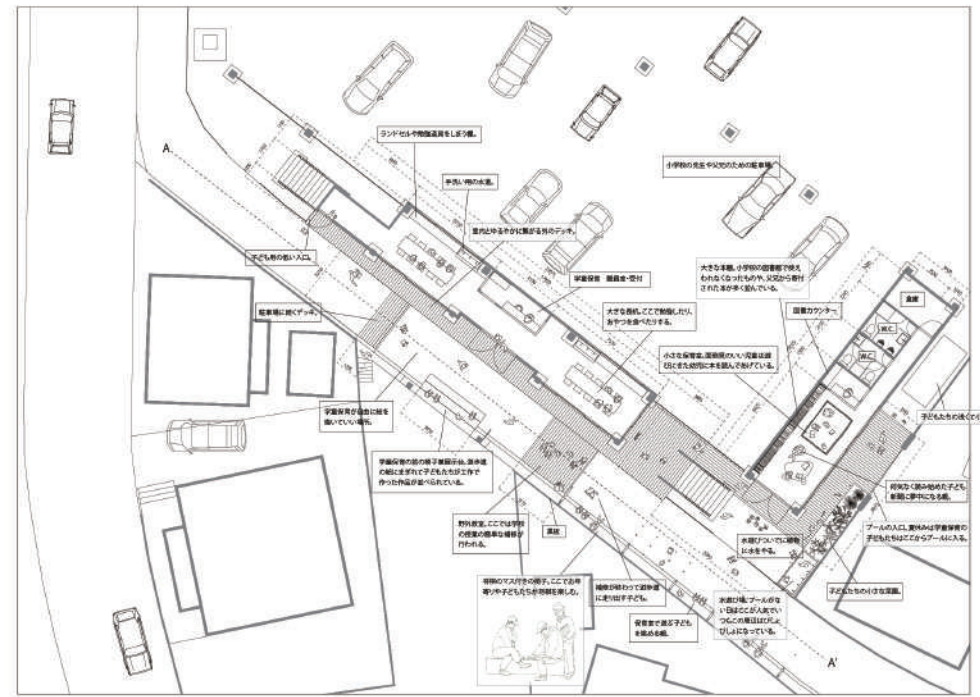
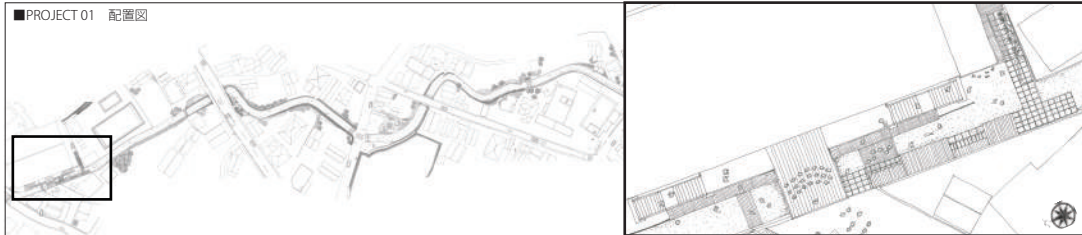


長い間使われていない体育館の裏の階段。 体育館下のロビースペースは駐車場として使われている。 階段を上ると体育館の裏口がある。



2つの階段をつないでできた小さなステージ。 小学校の裏側が、地域の人にとっての小学校の入り口になる。 体育館に接する道が、子供たちの遊び場所になる。

PROJECT 01 配置図



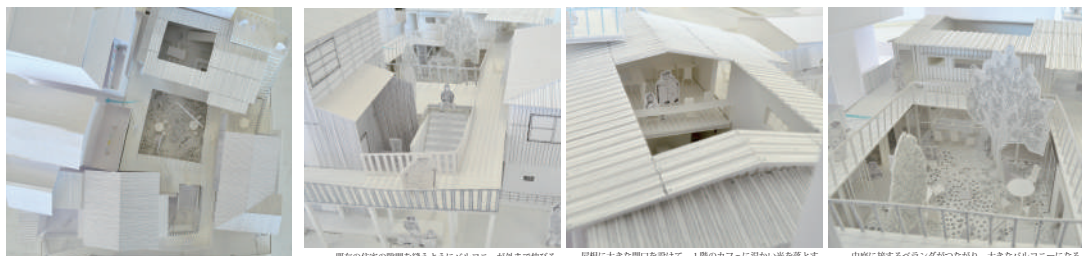
縦差しの写真 一帯を歩いて見つけた場所とその組織によって考えられる建築のあり方
 体育館裏 1階平面図 (GL+1500mm) S=1:150

PROJECT 02
 住宅密集地の空き地と空き家
 ↓
 小さな広場とそれを囲む図書館とカフェ

築100年を越え、3回の増改築を行った迫力の住宅の脇に、雑草が生い茂り侵入が不可能な空き地があり、更にその奥に空き家が生きている。この空き地を小さな広場に、そのまわりを図書館とカフェでぐるりと囲む。散歩の途中ふらりと立ち寄ったおじさんは、入ってすぐ新聞を手取り日取りのいい広場で新聞をゆっくり読む。小さいけれど豊かな外部空間と木とコーシーが自然と生活の中に溶け込んでいく。

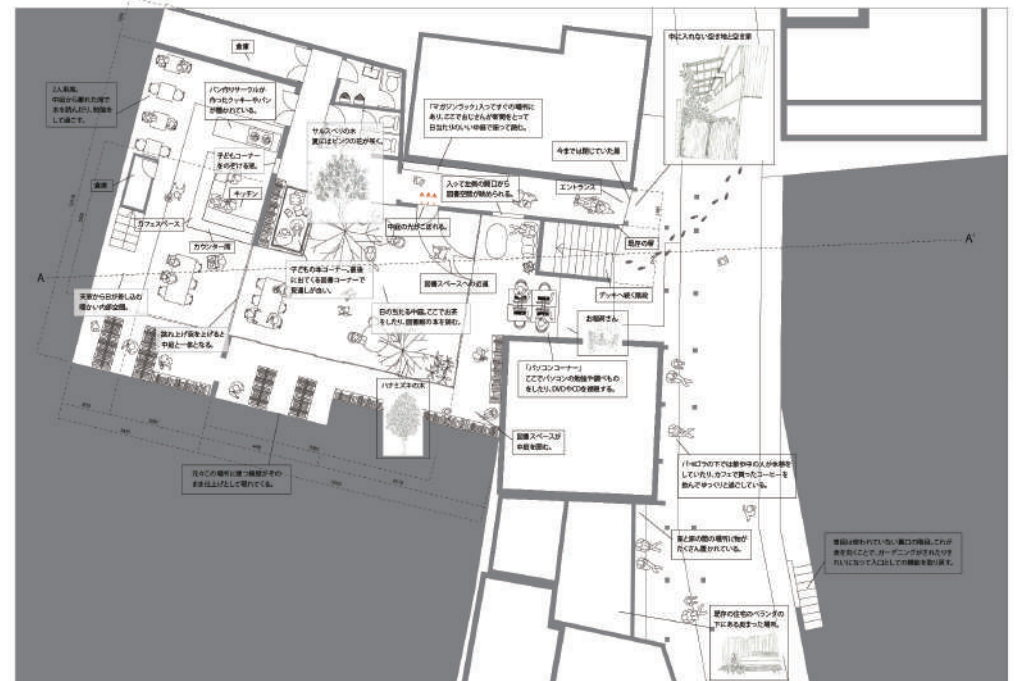


3度の増改築を行った築100年を越える住宅。 地蔵によって作られたベンダラ。 草が生い茂り、侵入の不可能な空き地と奥の空き家。



既存の住宅の隙間を縫うようにバルコニーが外まで伸びる。 屋根に大きな開口を設けて、1階のカフェに溢れる光を落とす。 中庭に接するベンダラがつながり、大きなバルコニーになる。

PROJECT 02 配置図



縦差しの写真 一帯を歩いて見つけた場所とその組織によって考えられる建築のあり方
 住宅密集地 1階平面図 (GL+2000mm) S=1:100

PROJECT 03-a

擁壁と空き地
↓
視線が遮られた作業室と講座室

擁壁の階段を上っていくと、地面からずっと立ち上がったような壁に誘い込まれる。地続きの内部を持ち、人通りが多く賑わい立ち寄りやすい作業室。そしてそのまま進んでいくとまた外に出て、講座室に辿り着く。階段は公民館の3Fにあるホールでサークル活動に取り組んでいるおばちゃんたちにとって、外から見えないことは結構大事なことがある。慣れないうちは戸惑うかもしれないが、すぐにそんなことを気にしなくなるのも田舎のおばちゃんたちの強みだと思う。



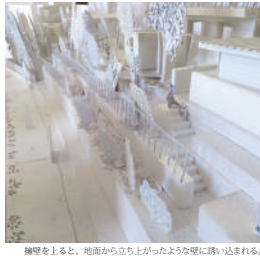
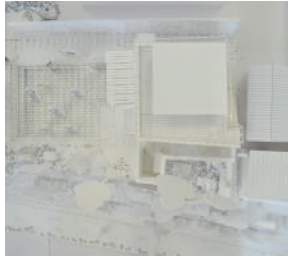
擁壁上の植物が遠くに向かって生えている。



高さ4.2mの擁壁によって上の空き地は閉ざされている。



周りの家の樹と植物に囲まれた、園にも使われない空き地。



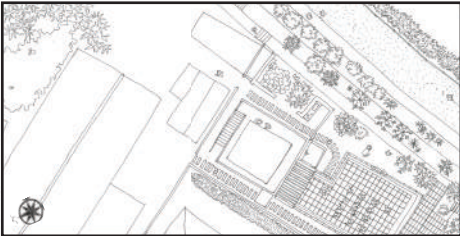
擁壁を上ると、地面から立ち上がったような壁に誘い込まれる。



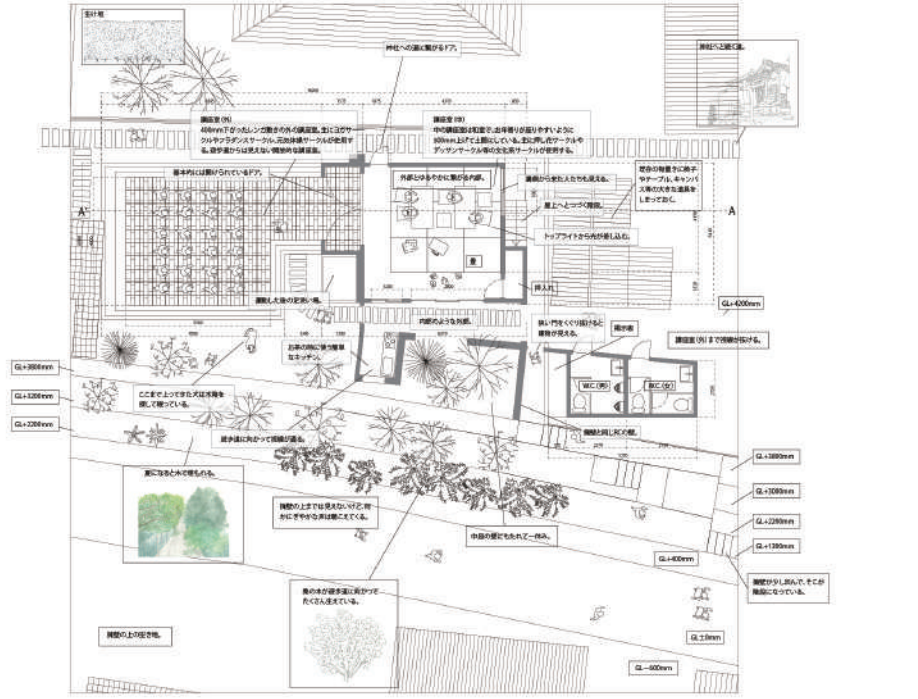
木をよけて登りが立ち、そこが内部と連続した小さな中庭になる。



地面との連続感を持ち、立ち寄りやすい作業室と外の講座室。



PROJECT 03-a 配置図



眼差しの写真 一歩を歩いて見つけた場所とその視線によって考えられる建物のあり方 擁壁上の空き地 1階平面図 (GL + 5700mm) S=1:100

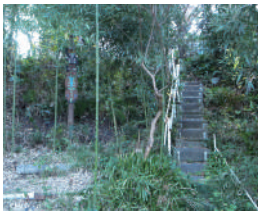
PROJECT 03-b

擁壁の隣の竹藪
↓
屋外・屋内展示場

季節をまたいでここで、木や草で埋め尽くされた竹藪の中に手作りの階段やトームボールを見つけた。竹や伊予柑、柿の木やたけのこの草がざっしりと生えており、敷地内の環境が日に日に変わっていく中で、ここに展示された作品の見え方もまた変わっていく。訪れるたびにそんな変化を新たに発見できる橋のような展示場。



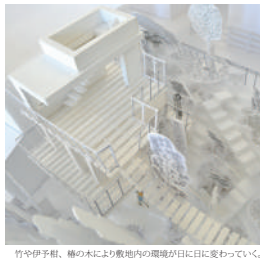
1年の半分は植物によって竹藪の中は見えなかった。



手作りの階段とトームボールが冬になって見つけられた。



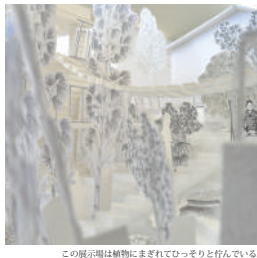
竹藪の中の階段を上ると、住宅につながる狭い道がある。



竹や伊予柑、柿の木により敷地内の環境が日に日に変わっていく。



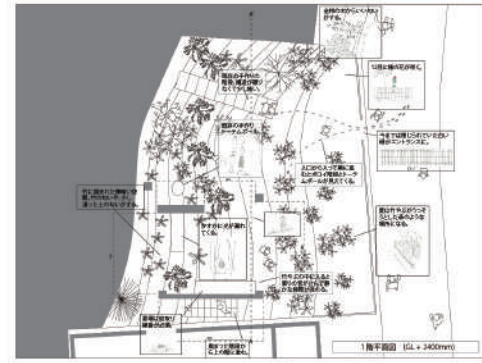
最上層からは隣の擁壁の上にいる人たちが一望できる。



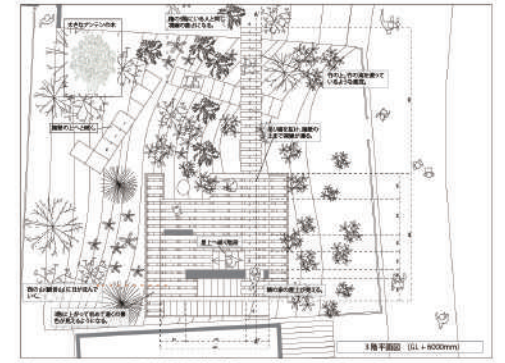
この展示場は植物にまぎれてひっそりと佇んでいる。



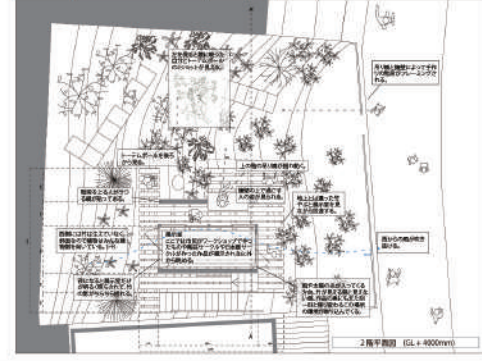
PROJECT 03-b 配置図



1階平面図 (GL + 3400mm)



2階平面図 (GL + 6000mm)



3階平面図 (GL + 4000mm)



最上層平面図 (GL + 6000mm)

眼差しの写真 一歩を歩いて見つけた場所とその視線によって考えられる建物のあり方 竹藪 平面図 S=1:100